

# 大腸癌における人工知能（AI）による評価を含めた新規病理組織学的因子の評価に関する日英共同研究

## 1. 研究の対象

1997年1月～2013年12月に当院で大腸がんの手術を受けられた方

## 2. 研究目的・方法

防衛医科大学校外科学講座では大腸癌患者さんの術後治療に有用な指標の研究として、特に低分化胞巣、線維性癌間質、簇出、クローン様リンパ球集簇（Crohn-like lymphoid reaction）といった新しい病理組織学的因子に着目して検討してきましたが、これらの因子が海外でも使用可能な普遍的な因子であるか否かを確認するために、英国のセントアンドリュース大学と共同研究を行い、英国の症例でも同様の結果が得られるか検証することを計画しています。また、病理学的因子の評価は、判定者によって判定結果がばらつく可能性があります。人工知能（AI）を用いて判定することにより、ばらつきが少ない適切な判定が可能かについても共同研究で検討します。さらに、臨床的有用性が有望な因子については、既存の組織標本の詳細な検討により、その因子に関連する生物学的背景を明らかにすることも合わせて検討します。これらの検討で、大腸癌について、海外でも使用可能な手術後の治療選択に有用な因子を明らかにするとともに、判定制度の向上につなげることが本研究の目的です。

研究期間は、本研究に関する防衛医科大学校長の研究承認日から2020年12月31日までの予定です。

## 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、病理検査所見、再発等の予後等

試料：病理診断で使用したプレパラート、ホルマリン固定パラフィン標本、凍結標本

## 4. 外部への試料・情報の提供

研究施設間の情報提供は、パスワードで保護された匿名化データを電子的配信で授受し、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。また、資料の授受についても、研究用のID番号のみで管理し、個人が特定できる情報を含まないようにして郵送等で行います。匿名化の対応表は、当科の研究責任者に指名された医師が保管・管理します。

## 5. 研究組織

共同研究施設（責任者）：セントアンドリュース大学（Peter David Caie）

## 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒359-8513 埼玉県所沢市並木3-2

防衛医科大学校 外科学講座 梶原由規

電話：04-2995-1637 FAX：04-2996-5205

研究代表者兼責任者：

防衛医科大学校外科学講座 上野 秀樹